



ここから始まる 仲間の和、地域の輪

# いずみ

第226号(令和4年11月5日)  
コミュニティ情報

<https://fukuizu.org>



発行/永福和泉地域区民センター協議会  
☎ 03-5300-9412

地域でボランティアしませんか!

## 永福和泉地域区民センター協議会 第17期 委員募集!

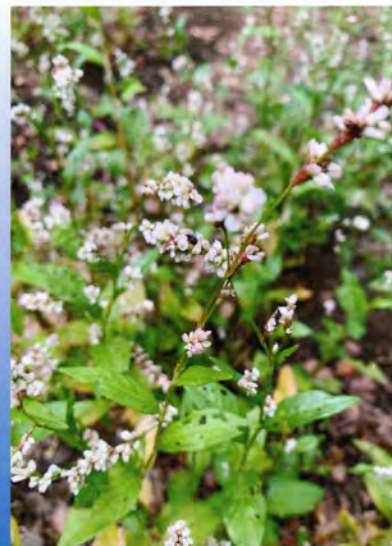
地域住民の交流やコミュニティ形成を目的として、

まつり・各種講座・イベントの企画・運営のほか、コミュニティ誌の発行等の活動を行います。

- 対象者** 下記地域に在住・在勤・在学で、ボランティア活動ができる方(過去に協議会委員を務めた方は除く)  
方南全域、和泉全域、下高井戸1~4丁目、永福全域、浜田山1・3・4丁目、掘ノ内1丁目、大宮全域
- 任期** 令和5年4月~令和7年4月 1期2年で2期まで更新可 **活動費** 交通費程度 **募集人数** 若干名
- 活動日** 主に平日の2時間程度で、月に2~6回程度の活動。イベントは土日に行うこともあり。
- 申込み** 応募用紙(当協議会にて配布/ホームページよりダウンロード)又は履歴書を作成の上、**令和5年1月13日(金)** 必着で協議会事務局へ郵送、ファックスまたは持参 〒168-0063 杉並区和泉3-8-18 電話 03-5300-9412 FAX 03-5300-3582  
※書類選考後、面談等について連絡致します。応募書類は返却しませんのでご了承ください。

### 藍・秋 古民家の畑に咲く薄紅色、藍、穂状の小花たちは種へ

郷土博物館の秋、NPO法人すぎなみムーサ「ムーサ藍」チームは沈殿藍づくりに挑戦。藍の葉の収穫は1年に一度、8月に藍の葉を摘んで洗い、バケツに入れて二昼夜発酵させて... その顛末記を次号掲載いたします。



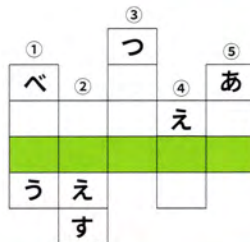
8月5日 郷土博物館「子供向け藍染教室」用に郷土博物館学芸員 金子さおりさんが作成された資料によると

- ◆「あい」の良いところ
  - ・藍染めすることで、丈夫な布になる
  - ・虫よけの効果があり、においを消す
- ◆「藍」の利用方法
  - ・染めたり: 藍染め
  - ・薬にしたり: 痛みの緩和・解熱・毒消し
  - ・食べたり: 天ぷらやお茶、薬味に利用
- ◆杉並と「あい」
  - ・杉並区で藍の栽培は明治から大正初期
  - ・今の井草や高円寺あたりで盛んだった
  - ・藍屋が藍葉を藍玉に加工
  - ・流通最盛期が1894年~1905年頃
  - ・後にドイツから化学染料が輸入されて 藍屋は休業・廃業

各番号のところに縦に答えを入れてください。

- ① 遠足のお楽しみ。
- ② おひつじ座。
- ③ 夏草や〜どもが夢の跡。
- ④ 活動写真、キネマ、シネマともいう。
- ⑤ 放置された状態の土地。

緑色の枠内の文字をつなげて。



答えはこの番号のところに...

#### 【新型コロナ感染対策のお願い・注意事項】

- ・各種事業にご参加・ご来館の際は必ずマスク着用・手指アルコール消毒をお願いいたします。
- ・発熱のある方、体調不良の方はご参加・ご来館をお控えください。
- ・マスク非着用の方は入室をお断りし、入室されている場合はご退避いただけます。
- ・今後も感染状況・天候によっては、内容・人数変更や開催中止となることをご了承ください。

休館日カレンダー 永 永福和泉地域区民センター 方 方南区民集会所 下 下高井戸区民集会所 会 方南会館

#### 11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 方	3	4	5
6	7	8	9 永	10	11	12
13	14	15 永	16 方下	17	18	19
20	21	22	23 永	24	25 会	26
27	28	29	30			

#### 12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7 方	8	9	10
11	12	13	14 永	15 永	16	17
18	19	20	21 方下	22	23	24
25 会	26	27	28	29	30	31

令和4年12月28日~令和5年1月4日 全館休館日



# 「平和への祈り ～私たちにできることを考えよう～」

令和4年9月3日(土) 永福和泉地域区民センター2階1～3集会室

8月30日(火)～9月4日(日) 1階ギャラリー 絵本の原画と対馬丸関連の写真展示

2部構成の第1部は、フリーアナウンサー長谷川直子さんによる、絵本「悲しい対馬丸の話」と「野ばら」の朗読が行われました。落ち着いたプロの語りが心に響きました。

「悲しい対馬丸の話」作者の山本和昭さんも来場され、インタビューも行われました。



第2部では、荻窪祝祭管弦楽団員から6名の奏者が登場し、映画「ひまわり」テーマ曲から始まり、6曲が演奏されました。アンコール曲「ラデツキー行進曲」では、約50人の参加者の手拍子も加わり会場が盛り上がりました。

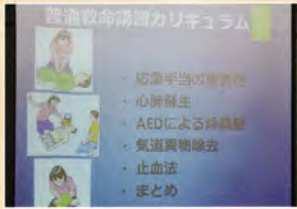
朗読と演奏会、それぞれ平和をテーマに選ばれた絵本・曲目であり、平和について改めて考える機会となりました。

会場には、ウクライナ緊急支援寄付金の募金箱も設置されました。

協働先：学童疎開船を語り継ぐ会

## 委員研修「普通救命講習」の報告

令和4年9月5日(月)、杉並消防署と消防団の方を講師に迎えて「普通救命講習」(AED研修)が、当センター協議会委員20名の参加で、講義と実技講習が行われました。各々順番に、コロナ対策をした上、胸骨圧迫の心肺蘇生と、AED装置取扱の実技講習を受け、「救命技能認定書」を全員取得する事ができました。昨年度はコロナ禍で中止となりましたが、今年是对策をして開催できてよかったです。



＜杉並消防署警防課救急係の方の説明

消防団の方々の丁寧な実技講習の指導



## 下高井戸区民集会所まつり開催報告

令和4年10月10日(月)に下高井戸運動場でのスポーツフェスティバルと共催で、下高まつりを開催しました。

杉並産野菜販売、ポップコーン、おにぎり、唐揚げ、コロッケ等の販売では早々に売り切れとなり、苗木de募金では多くの方にご協力いただきました。また、スーパーボールすくい、輪投げ、射的、缶バッチ作りをお楽しみいただきました。

明治大学ボランティアセンターの学生の協力を得て、地域の皆様とのふれあいを提供でき、延べ895名のご参加で、久しぶりに賑やかな(販売品全品種完売)おまつりが開催できたことに感謝申し上げます。



## 「聞く音から見る音へ ～手話は言語である～」

9月28日(水)永福図書館では「手話であそぼう！おはなし会」を開催しました。絵本の読み聞かせ後、読み手の佐沢静枝さん(杉並区聴覚障害者協会)と一緒にいる絵本の手話体験、ゲーチャキパーでできる手話発見ゲームでは日常と違う発想力や好奇心が刺激されて、参加者の手や顔には表現豊かなリズムある動きが生まれました。“皆さん、手話をご存知ですか？”手話は聴覚障害者の方の視覚的コミュニケーション手段です。

都内には公私立ろう学校が9校あり、そのうちの2校、東京都中央ろう学校・大塚ろう学校永福分室が当センターから徒歩10分のところにあります。

ろう学校の言語の1つ『手話』は遠い世界の言語ではなく、皆さんが利用するセンターから歩いてゆける身近な世界のものであります。

例えば、12月14日(水)まで実証実験中のJR上野駅1・2番線ホームの自販機上に設置された音の視覚化装置「エキマトペ」があります。この装置は、駅員のアナウンスや電車の発着などの環境音をAIが識別して、手話や文章の意味や感情に合わせたフォントの文字でリアルタイムに変換してくれます。

この装置の導入は聴覚障害者の方々にとって、すばらしい取り組みと思います。聞く音から見る音へ、誰にも見える試みが始まっています。







# センターまつり 募集のお知らせ



## \*作品展示

\*ショータイム [ダンス・演奏・その他のパフォーマンス] ※1団体10名以下、20分以内  
\*物品・個包装済み食品の販売 (非営利団体のみ)

**【開催日時】** 令和5年2月19日(日) 10時~15時 ※1日のみの開催

**【対象者】** 永福和泉地域区民センターを利用しているグループまたは周辺地域にお住まいの方 (業者出店は不可)

**【申込方法】** 往復ハガキに「センターまつり参加希望」と明記の上、団体・グループ名、代表者名、住所、電話番号、参加内容 [展示内容 (パネル数など)、出演内容、出店内容]、参加人数・必要備品などをできるだけ詳細にご記入ください。応募多数の場合は抽選となります。後日、説明会の案内を送付いたします。

**【締切】** 令和4年12月5日(月) 必着

**【問合せ・申込先】** 〒168-0063 杉並区和泉3-8-18 永福和泉地域区民センター協議会 電話 03-5300-9412

(受付時間 9時~17時 土日祝日を除く)

※申込みは事務局窓口でも受付をしております。その際は、普通はがき (63円) をお持ちください。

※なお、新型コロナウイルス感染状況等により変更する場合がありますことをご了承ください。

## 防災倉庫を見てみよう ~多言語防災マップ~



区内在住外国人16,735人(杉並区統計書 令和3年版より)の方々への支援として、従来の防災マップ(日本語版・英語版)に、中国語・韓国語・タガログ語・ベトナム語・ネパール語の5か国語版が追加されました。

杉並区では、区内の避難場所等を地図で示し多言語化した防災マップや各種リーフレットの配布を通じて、避難場所の確認などを行い、日常から備えることで、災害時には区内在住外国人の方が「要援護者」ではなく、地震などの被災経験が少ないかつ日本語の理解が難しい他の外国人の方への「支援者」として活動できるよう啓発しています。そうした区の事業について杉並区役所 危機管理室 防災課 福岡 省伍さんにお話を伺いました。

### Q. 防災マップの多言語作成の追加の経緯は？

令和3年度の議会で区政運営指針として策定された基本構想のもと、令和4年度から約10間を展望した3つの基本的理念のひとつ「認め合い 支え合う」より【地域で暮らす人たちが、誰一人として差別されず、取り残されない社会】の文言に則した防災の観点から、どのような施策ができるのか検討した結果のひとつが防災マップの多言語化です。在住外国人の方々への防災についての意識啓発を目的に作成しました。

### Q. 今回の5か国語選定理由は？

令和3年版杉並区統計書(令和3年1月時点)で、在住者の多い母国語の順に5つの言語を選定しました。

### Q. 防災マップの活用については？

区ではお近くの震災救援所への避難を勧めています。現住所からだけでなく、避難しやすさも考慮して、在住外国人の方にも日頃から震災救援所や広域避難場所の位置やそこまでの経路を把握してほしいです。「震災救援所」は主に自宅が火災や倒壊により生活ができなくなった場合の生活の場を示し、「広域避難場所」は主に震災時に大規模延焼火災が発生した場合、安全確認後に自宅に戻るまたは震災救援所に移動するまでの一時避難場所を示しています。

### Q. 防災マップの今後は？

来年度以降さらに様々な角度から周知できる方法を考えてゆきます。最新情報を提供するため、防災マップはHPからのダウンロードをお願いします。※上記にある防災マップ(杉並区公式ホームページ)ページへのQRコードをご利用ください。

### Q. 防災マップの他には？

在宅避難を行う際に必要となる防災用品を一覧にした「令和4年度 防災用品あっせんのご案内」です。当パンフレットを通じて、防災用品を定価より安いあっせん価格で購入することができるので、ぜひ活用していただき、在宅避難を行う上での必要物品を備えていただければ幸いです。当パンフレットに外国語版はありませんが、防災用品ごとの区内購入数を防災課が把握でき、備蓄用品の現状を踏まえた今後の検討ができます。例えば、購入数から発災時の家具転倒への対応がまだ少ない事が解ってきています。当パンフレットは地域区民センター、区役所本庁舎などに置かれ、見本品は防災課(区役所西棟6階)にてご覧になれます。



▲上記のQRコードで移動し、7か国版防災マップのダウンロードできます。



▲防災マップは見やすいA3サイズ



▲防災関係資料は永福和泉地域区民センターのロビーにもあります。

区内の震災救援所(小中学校65か所)だけでは全区民に対応する難しさが、地震被害シミュレーションからも判明しています。

杉並区では発災時でも、自宅の倒壊や火災の恐れがなく安全であれば、自宅で避難生活を行い震災救援所に物資を取りに行く在宅避難も勧めています。防災マップも日本語版と外国語版を併用すれば共助にも役立ちます。震災救援所防災倉庫に設置する12か国語マニュアルの更新も今後適宜検討してゆく中で、第一段階として防災マップに取組みました。これから求められるものを選定して構築してゆく予定です。



申込方法

往復はがきに希望講座名・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・【いずみ】と明記し、返信用に住所・氏名を記入の上、各締切日(必着)までにお申込み下さい。はがきは1人1枚に限ります。申込み多数の場合は抽選となります。

問合せ・宛先 永福和泉地域区民センター協議会  
〒168-0063 杉並区和泉3-8-18 ☎03-5300-9412

往信(表面) 63円 1680063 往信 杉並区和泉3-8-18 永福和泉地域区民センター協議会 協働会行	返信(裏面) 何も記入しないでください	返信(表面) 63円 ご自分の郵便番号 返信 ご自分の住所 ご自分のお名前	往信(裏面) ①講座名 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号 いずみ
---	------------------------	--	---

講座の申込みは、事務局でも受付しております。その際は、普通はがき(63円)をお持ちください。

◆永福和泉地域区民センター ※新型コロナウイルス感染症対策に伴い、スケジュールが流動的となります。

講座	内容	ガイド	定員	開催日時	費用	締切日
【東洋大学講師派遣事業】 日本列島 —文学文化風土の旅—	名作で織る文学文化風土は、新たな自己との行き逢いの旅となる。古代武蔵野から江戸、改めての近代東京は、古典文学から近・現代文学まで豊かな文学風土を形成した。これを杉並の井伏鱒二阿佐ヶ谷会などに集約する。	東洋大学名誉教授 竹内 清己 (たけうち きよみ)	40名 長	12月10日(土) 13時～ 14時30分	無料	11月28日 (月) 必着
ルイ14世と ヴェルサイユ	世界遺産の中でも特に人気の高いヴェルサイユ宮殿・庭園。ルイ14世は、なぜ厳しい財政状況の中、莫大な資金をつぎ込んでヴェルサイユを造営したのでしょうか?その成り立ちについてお話します。	歴史文化講座講師 伊藤 寿 (いとう ひさし)	40名 長	12月12日(月) 13時～15時	無料	11月30日 (水) 必着
自分でできる 足もみ講座	健康維持のためにも自分の足で最後まで歩くことが良いとされています。歩きやすい足を作るために自分でできる足もみを習いませんか?講師があなたの足の状況を見ながら揉み方を説明いたします。	一般社団法人正しい足の文化を創る会代表理事 亀井 絹代 (かめい きぬよ)	20名 長	令和5年 1月13日(金) 13時～15時	無料	12月26日 (月) 必着

※講座はどなたでも参加できます。(参加対象者のある講座を除く。小学生以下の参加可能講座は保護者同伴)

●詳細は <https://member.sugi-chiiki.com/eifuku-izumi/> をご確認ください。※長: 75歳以上の方は長寿応援ポイントの対象となります。(一部を除く)

文化講座へようこそ

古典を遊ぼう～百人一首の世界～

9月2日(金) 当センター

学習院大学講師 田中洋子先生の豊富なエピソードを交えた『百人一首の時代背景』の解説にスタートから盛り上がりました。難解に思われがち『古典を遊ぼう』と言う、ユーモアあふれる先生の親しみやすさと解りやすさに魅了された参加者からは『楽しい・面白い・また参加したい』などの声が多く、あっという間の2時間でした。



杉並区立郷土博物館  
【準常設展】

『杉並文学館—井伏鱒二と阿佐ヶ谷文士—』

令和4年11月12日(土)～12月4日(日)

会場 郷土博物館 特別展示室

【時間】9時～17時 【休館日】月曜日、第3木曜日

【観覧料】100円(中学生以下、障害者手帳提示の方およびその付添いの方は無料)、団体は20名以上で1名80円

関東大震災の昭和2年(1927年)荻窪に居を構えた作家・井伏鱒二は、以後60余年をこの地で過ごし、近隣に住む文士と交流しながら、数多くの作品を世に遺しました。

本展では、井伏鱒二と、彼と交流のあった青柳瑞穂・上林暁・外村繁・太宰治など、「阿佐ヶ谷会」の文士の作品やその業績を紹介します。

【お問合せ先】杉並区立郷土博物館 大宮1-20-8 03-3317-0841 <https://www.city.suginami.tokyo.jp/histmus>

